

令和8年度

利用者の知識及び能力の向上に係る実施状況報告書

1. 取り組みの目的

当事業所では、利用者一人ひとりが就労に必要な知識及び能力を身に付け、現在の職場で安定して働くことが出来る事とともに、将来的に一般就労につながる力を身に付けていけるよう、定期的に研修を実施しております。

2. 実施した取り組み

① 「職場での困難場面に備える」研修

職場で困った事や悩みが生じた場合に、適切に相談、対応できる力を身に付ける事を目的として実施しました。

【主な内容】

困ったときの相談方法を例文を元に自分だったらどのように対処するのか、困難場面に遭遇した時、どのような対応や行動をとるのがよいのかをグループで考え発表しあい、適切な対応を学ぶ。

② 「コミュニケーション」研修

職場において円滑な人間関係を築き、仕事を進めるために必要なコミュニケーション能力の向上を目的として実施いたしました。

【主な内容】

挨拶の大切さや相手の話を聞く事、自分の気持ちを伝える事、職場での適切な言葉使いや周囲への配慮等を考えながらコミュニケーションを取る事。

③ 「働くとは」研修

働く事への意味や、職場で必要となる基本的な考え方を身に付ける事を目的として実施しました。

【主な内容】

- | | |
|-------------|----------------|
| ・働く事の意味 | ・安定して働く為に必要なこと |
| ・仕事に対する責任 | ・一般就労へ向けての心構え |
| ・職場で守るべきルール | |
| ・時間を守る事の大切さ | |

④ 施設外就労・ホテル清掃、民泊清掃の流れや技術、工程についての研修

施設外就労では体力も必要となる為、身体の使い方や基本的な清掃の技術、洗剤の取り扱いや感染対策についての知識を身に付けて頂くため。

【主な内容】

写真付きのマニュアルを用意し、それに沿って基本的な流れや清掃の仕方を学んでもらう。清掃時に起こりうる感染や洗剤の取り扱いについての研修も含め研修を行っております。

いずれも、グループになり研修を実施。各々意見を出し合い、ディスカッションをする中で学んでいけるような研修を行っております。

3. 利用者への効果

研修を通じて、職場で困っている事、また将来的に役に立つ事柄など基本的な知識や能力を身に付けていける機会を提供いたしました。

また、現在の就労場面でも必要時、それらが役に立つように内容を選び実践に繋げていけるように支援いたしました。

4. 利用者の意見・感想

- ・ 困ったときは一人で抱え込まず相談する事が大切だとわかった
- ・ 仕事では挨拶やコミュニケーションが大切だと思った
- ・ 働く上での守らなければならないルールについて改めて考えた

5. 今後の取り組みについて

今後も定期的に現在、また将来の一般就労に繋がる必要な知識や能力を身に付けていけるよう様々な研修を実施していきたいと考えております。